

福井 2人以上多子世帯の高校授業料を完全無償化 補正予算で50億円 来年度から

福井県が8月31日に発表した9月補正予算案で、扶養 2 人以上の多子世帯の高校授業料の年収910万円の所得制限を撤廃して「完全無償化」します。県は「日本一の多子世帯応援」としています。北陸ブロックキャラバンで、生徒、卒業生(母校の非常勤講師)、さらに富山や新潟、全国からも参加した 15 人による対県要請が、県政を大きく動かしました。

県9月補正予算案

高校授業料を完全無償化

扶養2人以上 来年度から 第2子保育料も

福井県は31日、2023年度9月補正予算案を発表した。「日本一の多子世帯応援」と銘打った子育て支援策の制度拡充に向けた財源として50億円の基金を積み立てるなど、一般会計を166億円200万円増額した。扶養2人以上の多子世帯応援として来年度から、高校授業料の完全無償化や第2子（0〜2歳）の保育料完全無償化など、杉本達治知事が2期目の公約に掲げた政策を実施する。扶養2人以上世帯の高校授業料の完全無償化は全国の自治体で初。（武居哲）

知事選を踏まえた「肉付け予算（6月補正予算）」後の9月補正予算規模としては平成以降で最大。補正後の総額は前年度比3.8%減の5402億7400万円。9月4日開会の定例会に提案する。

福井県9月補正予算案の主な事業

人口減少対策	51億円
・「日本一の多子世帯応援」へ基金設立	50億円
・第2子の保育料の無償化	制度拡充 2024年度～
・第2子以降の在宅育児応援手当の支給	制度拡充 2024年度～
・多子世帯の高校授業料無償化	
・多子世帯の県内大学等の授業料減免	
7月大雨災害対応	74億円
物価高騰対策	4億円
・伴走支援資金の融資枠拡大	3億3000万円
・業務改善・賃上げ応援	6580万円
北陸新幹線県内開業対策	4億円
・省エネタクシー車両導入支援	2800万円
・地域鉄道人材確保支援	600万円
原発立地地域の避難経路安全確保	2100万円
福島県産の水産物PR	既決予算で対応

0〜2歳の第2子の保育料完全無償化は来年度9月から実施する。世帯年収640万円以上の所得制限を撤廃し、保育料を免除する。0〜2歳の第3子以降と、3〜5歳の保育料も既に県と国の支援で無償化されている。また、0〜2歳の第2子以降を在宅で育児する世帯を対象にした月1万円の育児応援手当支給についても、世帯年収360万円以上の所得制限を撤廃する。

これらの制度拡充の財源を安定的に確保するため、前年度からの繰越金などを使って基金を積み立てた。杉本知事は31日の記者会見で「2人目の子どもからの支援が全国で一番厚い。ゆりかごから子どもの巣立ちまでの一貫した支援制度を県内外に分かりやすく発信できるように」と述べた。

このほか、7月の大雨災害の対応で、嶺北の県道や河川、農地などの復旧工事に計約74億円を充てる。新型コロナウイルス禍や物価高に苦しむ事業者支援などに4億円を盛り込んだ。

セブン&アイ・ホールディングスは31日、傘下の百貨店セゾン・西武を9月1日に米投資ファンドへ売却

県

財源確保へ基金50億円

扶養する子どもが2人以上いる多子世帯を対象とした高校授業料の完全無償化は来年度4月から導入する。県立高は県内全生徒の約2割となる約2600人、私立高は約1千人の生徒が対象となる見込み。収入910万円未満の世帯は既に県の独自支援や国の制度で授業料が免除されている。

0万円未満の世帯は既に県の独自支援や国の制度で授業料が免除されている。

多子世帯で県内高校から県内の大学、専門学校などに進学する学生の授業料減免は、国の制度に県独自の支援を上乗せする形だ。対象となる県内の大学や専門学校などは計20校。杉本知事は31日の記者会見で、県内出身者が県内大学に進学した場合の県内就職率が8割程度あるとし「いかに多くの生徒を県内にとどめるかが大事だ」と述べた。

残り3割が無償化となる。0〜2歳の第2子以降を在宅で育児する世帯を対象にした育児応援手当支給も制度拡充し、約1600人の子どもが対象となる見込みだ。

来年度9月からスタートする0〜2歳の第2子の保育料完全無償化は、世帯年収640万円以上の所得制限を撤廃する。県児童家庭課によると、保育園などに通う県内の0〜2歳の第2子は約4千人。現在の県の独自支援や国の制度で約7割が保育料を免除されており、

これらの多子世帯応援の制度拡充により、県は年間約14億円の支出を想定。安定的に財源を確保するため、本年度9月補正予算案で50億円の基金を積み立てる。

杉本知事は「税金などの一般財源も充てて、年5億円程度を基金から取り崩して使う予定」とした上で「（基金や制度拡充が）10年しか持たないということではない。毎年度の繰越金を基金に積み増すなど、安定的に運用していきたい」と強調し、長期的に多子世帯を応援していく考えを示した。

このほか、7月の大雨災害の対応で、嶺北の県道や河川、農地などの復旧工事に計約74億円を充てる。新型コロナウイルス禍や物価高に苦しむ事業者支援などに4億円を盛り込んだ。

多子世帯の高校授業料の無償化

県立	年収 ~910万円	910万円~	支援拡充
私立	年収 ~590万円 ~910万円	910万円~	支援拡充

保育料の無償化

0~2歳	第1子	~260万円	~360万円	~640万円	640万円~
	第2子				支援拡充
	第3子以降				
3~5歳					

国独自の授業料無償化、国独自の幼児教育・保育無償化、県独自の支援、2024年9月~

2023年(令和5年) 9月1日 金曜日

発行所 福井新聞社
福井市大和田2丁目801番地
郵便番号 910-8552
電話 0776(57)5111
https://www.fukui-shimbun.co.jp

お問い合わせは 読者センターへ
☎ 0776(57)5140
(日曜・祝日を除く 午前9時~午後5時)

福井新聞ご購読申し込み
☎ 0120-291-001
(日曜・祝日を除く 午前9時~午後5時)

顧客企業の繁栄に総合 合同経営会計

福井本社 坂井支所 福:
☎(0776)57-2370 奥越支所 武生支所

北陸新幹線 3/16開業

北陸新幹線金沢- 運行計画については、停車駅が少なすぎが福井県内全駅点を前向きに受け止めたか「つるぎ」を含明瞭化されたと分析

新連載「経営の流儀」ベビー用品高騰痛朝倉氏遺跡照らす おおいの発掘成果 関東大震災100年

エンタの森20面 ■おくやみ、 ■囲碁・将棋20面

慈しみの心 No.14
このなかでもよみながらもが、その経緯が、博識であるだけに、本意を体得し、よりどころに、服部育郎・中任研究員